



The Comet

The Newsletter of K. International School Tokyo

★Celebrating 15 years★

Volume 16 | Issue 2 | December 2012

“知性、そして人格。これこそ真の教育の最終目標である。”

—Martin Luther King, Jr.

➡ In this issue...

- ▶ KISTival 2012...p. 2
- ▶ エレメンタリースクールニュース...p. 4
- ▶ Grade 4広告製作プロジェクト...p. 7
- ▶ セカンダリースクールニュース...p. 9
- ▶ ドラマフェスティバル...p. 10
- ▶ Grade 6キャンプ報告...p. 11
- ▶ クラブ活動...p. 12
- ▶ 図書室ニュース...p. 14
- ▶ Volleyball Success...p. 14
- ▶ フィールドデイ...p. 16
- ▶ 適応サポート...p. 18
- ▶ Cross Country Fever...p. 19

学校長より...

まず初めに、生徒の健康と安全に関して、お知らせがあります。当校のK1クラスのみちちゃんのお父様、マーク小林氏は内科、救命救急科、心療内科、精神科の医師をなさっておりますが、このたび同様に、KISTの校医となって頂きました。Dr.小林は日を決めてボランティアで保健室に常駐すると仰って下さり、すでにこの10月より毎週木曜日8時30分から3時20分まで常駐下さっています。学校と致しましても、Dr.小林から即座に直接専門的診断を受けられることは、まことにありがたく、頼もしく、安心であり、また、すでに何人も生徒がその恩恵に浴していることには感謝の言葉もございません。(一人の生徒が肩を脱臼した時も即座に処置して下さいました。)この紙面をお借りして、Dr.小林に心から御礼申し上げたいと思います。本当にありがとうございます。

また、バイリンガルナースの件は、現在何名かの応募者と面接中であり、近日中に決定出来ると思います。今少しご猶予下さい。

さて、KISTの新しいミッションと教育理念が遂に完成し、理事会の承認を受けました。是非、KISTのウェブサイトの‘ようこそ’のページと、‘KISTについて’の‘ミッション’のページをご覧ください。

学校では、この2年間をかけて、そのミッションと教育理念の見直しを行って参りました。開校の理念を、より明確に伝え、常時変わることなくそれを受け継いでいくと同時に、変化の激しい現代社会において、新しい時代が求めるものや方法を常に模索し、取り入れていくためです。ご覧頂けるように、新しい学校の方針(Guiding statements)は、ミッションと教育理念の16の信条の形で表され、より簡潔で具体的になっています。

そして、ホームページの最後に述べましたように、私たちはIBの最終ゴールとなるDPで高得点を取得することを目指し、KISTのエレメンタリー、セカンダリーを通して学習するプロセスにおいて、‘国際社会に貢献する人格の秀でた有能な若者’になるために必要な知識、スキル、態度が習得出来ると思っております。また、生徒の持つ可能性を最大限に引き出し、IBプログラムにおいて学習全般を成功に導くための不可欠な言語と数学に強い学校を目指して努力して参ります。

来年は、なるべく早い時期に、保護者の皆様とのセッションを持ち、学校の方針を説明し、ご意見を伺いたいと思っております。どうか、その節はぜひご参加下さい。皆様には、時節柄、風邪など召しませんようご自愛下さい。

Yoshishige Komaki
Head of School

DATES TO REMEMBER



December 2012

- 7 (G1-G12) Clubs program ends
- 8 (G9-G12) MUN conference
- 12 Winter concert
- 15-Jan 6 Winter vacation
- 17-18 Office open

January 2013

- 4 Office open
- 7 School resumes
- 11 2013-2014 enrollment applications close
- 14 School day
- 14 (G1-G12) Clubs program resumes
- 17 (G10) IB DP information evening 2013-2015
- 21-23 (G9-G11/EIC) Semester 1 examinations
- 31-Feb 5 2013-2014 enrollment interviews

February 2013

- 1 (K1-K3) No school for students
- 4 Semester 2 commences
- 8 (W) Free dress day
- 8 (S/EIC) SRC dance
- 11 School holiday
- 12-19 (G12) DP mock examinations
- 12 (E/S/EIC) Semester 1 reports issued
- 13 (G6-G10) Brain Bowl
- 18 2013-2014 enrollment results distributed
- 20 (G5) PYP exhibition explanation evening
- 21 International mother language day celebration

KISTival 2012



2012年のKISTivalに関わって頂きましたコミュニティの皆様、本当にありがとうございました。前日の準備日、KISTival当日、翌日の片付け日の3日間とも、晴天に恵まれ、事故もなく大成功に終わることが出来ました。このKISTivalでは、例年ステージを盛り上げるため多彩なスペシャルゲストを保護者のご厚意によりお迎えしておりますが、今年は『スギちゃん』をお呼び頂けたこともあり、入場者数は約4000人を記録しました。今年のKISTivalがこのような大成功を遂げることが出来たことは、各クラスの経費を皆さんの寄付で賄って頂いたり、皆様のご協力によりラッフルへの景品提供が多数であったことでその経費負担が少なく済んだこと、ご有志やご自身の環境・人脈・ご経験を生かして意欲的にブースのご出店を頂いたなど、

皆様の積極的なご支援の賜物であります。本当に有難うございました。また、お忙しい中お時間をお繰り合わせ頂き様々な活動によりサポート頂きました皆様につきましてもこの場をお借りしてお礼を申し上げます。有り難うございました。

詳細については下記をご覧ください。この収益金は、全て新体育館棟建設プロジェクトへの寄付とさせていただきます。

来年も今年を超えるようなイベントにしたいと思いません。皆様の協力とサポートを引き続き宜しくお願い致します。

また、来年のKISTivalに向けて改善点やアイデアをお持ちの方はinfo@kist.ed.jpまでお気軽にご連絡ください。

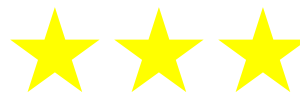


総収入: ¥7,917,235*

総経費: ¥1,828,521

収益: ¥6,088,714

(*未入金 contribution 340,000円を含む)



<注意>各ブースの売上は、入金済の contribution を含みます。別途 340,000 円の未入金があります。

各ブース売上詳細			金額	経費	粗利益	
Parent booths	K3	Face painting	¥78,125	¥802	¥77,323	
	G1	Beer / Wine / Soft drinks	¥552,396	¥386	¥552,010	
	G2	American food	¥326,125	¥31,793	¥294,332	
	G3	Chicken sandwiches	¥208,650	¥30,000	¥178,650	
	G4	Bazaar	¥832,305	¥60,621	¥771,684	
	G5					
	G6	Air slider / Target Out / Fishing / Hit the Elmo	¥561,625	¥210,100*	¥351,525	
				*Air Slider rental ¥210,000 3日		
	G7	Korean food	¥306,473	¥11,415	¥295,058	
	G8	Hawaiian food	¥167,300	¥30,520	¥136,780	
	G9	Japanese food (yakisoba)	¥145,575	¥11,415	¥134,160	
	G10	Thai food	¥210,000	¥15,939	¥194,061	
	G11	Café	¥265,755	¥5,000	¥260,755	
G12	Indian food	¥378,850	¥181,408	¥197,442		
EIC	Brazilian food	¥376,375	0	¥376,375		
Professional parent booths	Nail art, hair braiding		¥81,250	0	¥81,250	
	Chanko KIRISHIMA		¥113,625	¥39,145	¥74,480	
	Curry udon		¥96,250	¥17,248	¥79,002	
	Waseda University Rugby Club		¥20,500	¥600	¥19,900	
Staff booths	Ice-cream / Amazake / Takoyaki		¥184,175	¥33,150	¥151,025	
Student booths	G7A	Wet sponge toss	¥62,000	0	¥62,000	
	G7B	Slime making	¥48,000	¥132	¥47,868	
	G8A	Shooting game	¥25,125	¥2,332	¥22,793	
	G8B	Limbo / Scary storytelling	¥6,500	¥100	¥6,400	
	G9A	Bowling game	¥8,250	¥1,100	¥7,150	
	G9B	Scavenger hunt game	¥15,125	¥2,938	¥12,187	
	G10A & B	Haunted house	¥112,500	¥18,448	¥94,052	
	G11A	Mission game	¥21,250	¥1,846	¥19,404	
	G11B	Games	¥15,500	¥2,101	¥13,399	
	EIC	Tapiocha tea	¥66,875	0	¥66,875	
	Professional booths	Italian Sento Bene		¥68,250	¥33,250	¥35,000
Filipino food		¥312,750	¥272,750	¥40,000		
Café TOMATO		¥203,125	¥151,050	¥52,075		



その他	収入	経費	収益
寄付金・お祝い金・その他 ^{※1} /全体経費等 ^{※2} ※1:その他にはラッフル収入 1,434,600 円、入場料 274,230 円等が含まれます。 ※2: 全体経費等には広告印刷代、テント他各種レンタル代、ごみ処分費、ラッフル景品代、ステージ経費等が含まれます。	¥2,046,631	¥662,932	¥1,383,699



エレメンタリースクールニュース

An eventful year!

1年を振り返って-いろいろな出来事がありました
2012年も残すところわずかとなりました。今年度がスタートしてからここまでの数か月間をふりかえてみると、KISTivalやDEARコスチュームパレードなどたくさんのイベントがありました。またGrade 4クラスはアドミュージアム、Grade 2クラスは青山こどもの城へでかけたりと各クラス、学年でも校外学習などの取り組みが行われています。校内でも難民支援協会の方にお越しいただき、お話をうかがったり、カリマ先生よりフラを学んだりとさまざまな活動が展開されています。どんな出来事が印象に残っているのか、エレメンタリースクールコミュニティのメンバーにインタビューをしてみました。お楽しみください。

2013年へ向けて、みなさんも2012年の経験や思い出をふりかえてみてください。新年もすばらしい年となりますように。

Kevin Yoshihara
Elementary School Principal



Ruby (G1A):
「コスチュームを楽しめたのと、友だちと遊ぶことができたので、KISTivalがいちばんでした」



Mrs Lupone (G3B):
「新学期初日にクラスの子も達とはじめて顔を合わせた時がいちばん印象に残っています」



Sato (G4A):
「よく知られている写真でしか福澤諭吉をみたことがなかったので、アドミュージアムでほかの貴重な画像をみる事ができたのは、なによりの経験でした」



Haru (K2):
「ランチタイムです」



Hanna (G3B):
「クロスカントリーです。長い距離をせいいっぱい走りました。」



Mrs Okubo (K3B):
「DEARキャラクターパレードがいちばん印象的でした。子ども達は、物語の登場人物になりきって楽しんでいました。読書活動へのよびかけとしてすばらしい取り組みだと思えます。」



Joshua and Aryan (G5B):
「Grade 5キャンプがいちばんの思い出です。ラペリングなど新たな挑戦をすることができました。」



Mr Bradley (G3A):
「KISTivalでは、子ども達が主体となって取り組み、楽しんでいる姿をみる事ができました。なによりも心に残っています」



Eanya (G2A):
「走ることが好きなので、クロスカントリーがとても楽しかったです」



Mr Matsui (Japanese):
日本語「G5クラスでは、「私の歴史」のユニットでご家族に名前由来をたずねる活動を行いました。それぞれの発表から、親御さんの思いやお子さんの絆を感じ、とても感動しました」

PYPニュース

インフォメーションセッション、コーヒーモーニング

秋のインフォメーションセッションおよびコーヒーモーニングには、多くの保護者の方にお越しいただきました。第1回のインフォメーションセッションは、主に今年度よりKISTに入学された方を対象とし、PYPプログラムの紹介を行いました。カリキュラム文書やプログラムにおいて求められる学習者像といった、さまざまな内容をご案内させていただきました。第2回は、評価をテーマに、探究を通して学習活動がどのように展開されているのか、当校での日々の様子をまじえてお話しさせていただきました。KISTにおける評価のあり方、実際クラスでどのように実施されているのかについてもご紹介しました。

エレメンタリースクールやPYPプログラムについては、コーヒーモーニングでもご案内させていただいています。エレメンタリースクール校長、PYPコーディネーターとさまざまなトピックについて気軽にお話しいただくことのできる機会となっています。これまでたくさんの方にお越しいただきました。ご参加いただきました皆様、ありがとうございます。

Elizabeth Heard
PYP Coordinator

ESRC Free Dress Day

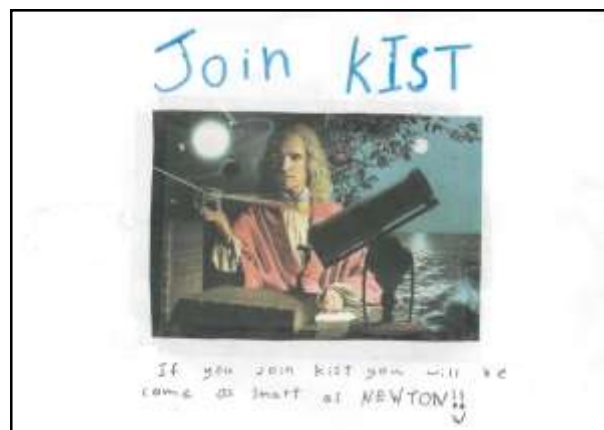
エレメンタリースクール生徒会(ESRC)は、11月28日(水)、Free Dress Dayを実施しました。準備にあたり、まずはテーマを話し合い、パジャマ、スーパーヒーロー、スポーツ、またはテーマを設定しないこれまでと同じスタイルのFree Dress Dayといった中から、メンバーがそれぞれクラスごとに生徒の票をとりまとめ、ESRCにて集計を行いました。そして、もっとも多くの票を獲得した従来のスタイルに決定し、それぞれが自由な服装で参加することになりました。また、参加費として集められる資金についても話し合い、クラスの図書購入にあてられることになりました。各クラスに50冊と目標をたて、ポスターを作成し、積極的に参加へのよびかけを行いました。たくさんの方の生徒の協力があり、参加費¥200を上回る資金を提供してくれた生徒もいました。全校による合計は、95,167円となりました。たくさんのご参加、ありがとうございます。それぞれのクラスに新しい図書が仲間入りするのを楽しみにしています。

Shridhar (G5B), Katherine (G5B), Ethan (G1A), Haruto (G1B), Sophia (K3A), Renzo (K3B)



Grade 4 広告製作プロジェクト

Grade 4クラスでは、探究ユニット「どのように自分たちを表現するか」の一環として、広告製作のプロジェクトに参加しました。Grade 4の親御さんであり、トランスコスモス株式会社広報宣伝部で実際に広告事業にあたられている岡安則和さんとチームの方々にお越しいただき、広告ができるまでのプロセスについてお話をうかがいました。そして、広告を手がけるチームにおける戦略プランナー、アートデザイナー、コピーライターといったそれぞれの役割についてご説明いただきました。子ども達はその後5つのグループにわかれ、分担について話し合い、岡安さんの提案に基づきチームごとに2点ずつ生徒の募集を目的としたKISTの広告づくりを行いました。ユニットで学習した説得方法を取り入れながら、1週間製作に取り組みました。完成された作品は12月17日より1月16日まで、MeetMeのウェブサイトにてごらんいただけます。



セカンダリースクールニュース

セカンダリー中間報告

冬休みがもうすぐ始まります。この時期は最初のクウォーターを振り返り、これからの事に目を向けるのに丁度良い時期なのではないでしょうか。12月12日6:00pmから始まるWinter Concertの準備は順調に進んでいます。生徒達は様々な才能を披露する機会をとて楽しみにしており、KISTの生徒が多才でバランスのとれた生徒である事が分かります。お子さんが発表をしないご家族の皆様も来て下さる事を願っています。Winter Concertはエレメンタリーとセカンダリーとセクションを分けて行います。

今年度はG10-G12の生徒が個人のラップトップを学校に持って来るようになったため、学校のネットワークに多くのラップトップが加わりました。生徒が時に意図的ではなくBitTorrentというソフトを起動していたためネットワークに問題を生じる場合もありました。しかし、この問題が起きたことにより、生徒に学習のリソースとしての正しいラップトップの使い方を確認する事が出来ただけでなく、保護者にも法改訂により更に厳しくなった違法ダウンロードの危険性を伝える事も出来ました。この件に関してご質問等ございます場合は、学校のITスタッフまで直接ご連絡下さい。

今年度の初めに生徒を対象に行ったラップトップのセットアップについての説明会は、来年度にも行われる予定です。これはK. OneNoteという、生徒がデジタル環境でノートをまとめる事が出来るソフトの使い方や、より安全で効率の良いラップトップの使い方を説明出来た事でとても効果的でした。今年の生徒からのフィードバックを取り入れ、来年度に活かしてより良いものにしていきます。

例年通り生徒は、関東にあるインターナショナルスクールから中高生が集まり行われるドラマフェスティバル (Middle and High School Drama

Festivals)に参加しました。このイベントでは、地域の劇場で働くプロの方々と一緒に楽しみながら演劇を学びつつ、実践的に語学スキルを磨く事が出来ます。

今年度予定されていた3つの宿泊校外学習のうち2つ、G6の日光とG8の秩父の校外学習を無事終える事が出来ました。これらの校外学習には、生徒の協調性を高め、社交性を育む環境を提供する目的もあります。G10の生徒には、3月6日から8日に宿泊校外学習が予定されており、MYPからDPへの移行をよりスムーズに行うためのアクティビティなども含まれています。詳細は、日程が近づいてからまたご連絡致します。

学校では、12月8日(土)に行われるNear East Model United Nations Scrimmage(模擬国連スクリメージ)の準備が進められています。KISTからの代表として参加する生徒も含め、10校から100名以上の生徒の参加が予定されています。米国大使館から2名のゲストスピーカーが来校し、現実に起こっているイベントに焦点を当て、生徒のリーダーシップへの意識を高め、効果的な外交が世界で起きている問題を争いなく解決するための重要性についてパネルディスカッション形式で説明します。

EICの生徒も含めてG9-G11の生徒は1月21-23日の間にSemester 1 Exam(期末試験)を受ける予定となっています。G12の生徒は、DP最終試験の模擬テストを2月12-19日の間に受ける事となっており、この試験の結果は試験が行われる日程の都合上Semester 1の成績表には含まれません。試験の結果は、セキュリティ保護



のかかったPowerSchoolの保護者用アカウントからご覧になれる予定となっています。年度の初めにG6-12の保護者用アカウントを公開できるようにする計画は遅れてしまいましたが、最初はG12の保護者用ページを公開する事を考えています。年度の終わりにかけて他の学年の保護者にも同様に公開出来る事を願っております。まだカスタマイズをし、調整している段階ですが、これが使えるようになった際には、先生が採点し成績を入力した時点から、生徒と保護者が成績を見る事ができるようになります。この保護者用ページからは出席状況を見る事も出来るようになります。

大学インフォナイトのようなイベントを開催して頂くなど、クリエイティブなアイデアやサポートをPTAは提供し続けて下さっています。特にセカンダリーの音楽クラスのために新しく楽器を購入して頂いた事にはとても感謝しております。

皆様が、良いホリデーシーズンと新年をお迎えすることを願っております。2013年に皆様とお会いできる事を楽しみにしております。

Stephen Rothkopf
Secondary School Principal

セカンダリースクールで予定されているイベント:

- Near East MUN Scrimmage – December 8
- Winter Concert – December 12
- IB Diploma Information Evening (G10 parents/students) – January 18
- Japanese New Year Celebration – February 6
- Semester 1 Report Cards Issued – February 12

MYPニュース

教育の一環として他のインターナショナルスクールで求められている、地域コミュニティへ貢献し、コミュニティのリソースを用いて学習をより良いものにする、という事がMYPでも同様に求められています。

今年度KISTでは、学校コミュニティのために保護者説明会やPTA主催のイベントなどが行われ、地域コミュニティのためにExplanation DayやKISTivalが行われました。G6美術の生徒と先生により初めての試みとして行われたMandala(曼荼羅/マンドラ)作成は、新しい形で学校とコミュニティを繋ぎました。

G6生徒が美術で行った最初の探究ユニットとして、曼荼羅が文化、社会的に持つ意味をリサーチし、実際に各生徒がコラージュと水彩画のテクニックを用いて曼荼羅をデザインしました。ここから始まった探究はこのアートの形を更に発展させました。生徒は、学校近くにある清澄公園で1ブロックの授業時間を使い、グループに分かれ、公園に落ちてい



るものでマンダラを作りました。形が出来上がるにつれ、徐々に通りかかる人々が足を止め、出来上がっていくアートワークを見学し始めました。そして更に質問もしてくれました！自分たちのアートが通りかかった地域の方々から異なった反応を引き起こし、その人々の日常に影響や変化を与えるという事を生徒達が学び、彼らにとって素晴らしい経験となりました。

もう一つ成功を収めたイベントがあります。G6とG7の生徒は“ツタンカーメン展—黄金の秘宝と少年王の真実”を、教員と保護者に引率され上野の森美術館まで見に行き、HumanitiesとVisual Artのクラスで学んだ古代エジプト文化についての知識を深めました。



11月9日に全MYP生徒の保護者を対象に、MYPのアセスメント(課題・評価)と、G10の保護者を対象としたパーソナルプロジェクトについての説明会が行われました。このプログラムに興味を持っている保護者の方々はワークショップ形式で行われる説明会の機会があれば是非参加してみてください。



皆様が良いホリデーシーズンをお過ごし出来る事を願っております。

Vedrana Pavletic
MYP Coordinator



セカンダリーSRC

SRCにとって今年度の始まりはとても忙しいものとなりました。各ホームルーム代表を含めたSRC全体でのミーティングを行い始めてから(ホームルーム代表が決まってからほどなく)、平均して週に一度SRC全体ミーティングを行い、その後SRC役員のみでフォローアップミーティングを別に行ってきました。全ホームルームから生徒の意見を集めて読み、自分達では変えられない事(制服ポリシー等)もあるという事を理解しながら、出来る限りを尽くして意見を反映させられるよう努力しています。

今年度初となる、SRC主催のパンクキンパーティー(ダンスパーティー)を11月2日に行いました。私達の予想をはるかに上回る140名以上が参加し、終了後に行ったアンケートの結果を見ても、大成功を収める事ができたと言えます。“Gangnam Style”、“One Direction”、ダンスコンペティションやリンボーゲームがMCのChai(G12)とNekki(G12)の進行によりイベント中に行われました。

今回初の試みとして、照明機器貸出を行っている会社からパーティライトをレンタルしセットアップした事により体育館



の雰囲気が変わり、生徒達からも好評を得る事が出来たため、2月8日に予定されている次のダンスパーティーでも行いたいと考えています。セカンダリーの生徒達が楽しめる場を提供する事を目標とし、フードと照明にかかった費用を取り戻すのみで、資金集めが目的ではなかったのですが、イベント後には17,000円を集める事が出来ました。この集まった資金は、セカンダリースクールのために使う、今後のSRC活動資金に充てたいと考えています。

SRC内で委員会を作り少人数のグループに分かれての作業は、特にダンスの準備の際に効果的であると感じました。仕事を分散させ、それぞれが専門的な作業に集中できた事により、決められた時間の中でより多くの作業を終える事が出来ました。これから始めるStudent Newspaper(生徒新聞)や、二回目となるKIST League Tournamentなど、他のプロジェクトやイベントの際も同様の方法で行っていく予定です。また、近いうちに発表できる事を願っていますが、他にも生徒のための計画を現在提案しています！

Secondary SRC



リンボー！



ダンスアクティビティーと一緒にいるMr Leroy



ドラマフェスティバル

11月8日にMiddle School Drama Festivalが国立オリンピック記念青少年総合センターで行われました。東京都内にある多くのインターナショナルスクールがこのイベントに参加しました。今年のテーマは“モンスター”で、私たちが選んだストーリーは：“都市伝説”、“ヴァンパイア”、“ゾンビ”、“ウェアウルフ(狼男)”、“フランケンシュタイン”、“日本の幽霊”とEdgar Allan Poeでした。

まず初めに、パフォーミングホールに集まり7つのグループに分けられました。その後グループリーダーの方々に着いて行き、リハーサルルームへと入りました。最初の一時間は自己紹介をし、お互いを知るために時間を使いました。台本をもらい練習を始めるグループと、自分達でストーリーを考えなければならないグループがありました。

15分休憩後、リハーサルルームに戻りました。まだ自分達の台本作りをしているグループと既に終わりかけているグループがありましたが、ほぼその時点では台詞と動きを覚えて調整をする段階となっていました。1時間の昼食休憩をはさみ、自分達のスキット(寸劇)の最後の調整に入りました。2:30pmになり、最初のホールに全員が集まり、私たちは皆の前で自分達のスキットを披露しました。

ドラマフェスティバルへの参加はとても素晴らしい経験となりました。普段関わる事のない他校の生徒と会う機会でもありました。新しいスキルを多く学び、来年はKISTからもっとたくさんの生徒が、この素晴らしいイベントに参加できる事を願っています！

Sara, Rachel, Natalie (G7A)

“ **Sara** ドラマフェスティバルはとても楽しい一日となりました。私のグループは“ゾンビ”をテーマにスキットを行いました。スキット作りの中心となったアイデアが、メロドラマチックにするという所が大好きでした。参加した全員が楽しんでいて、来年もう一度参加する事を今から待ち遠しく思います！ ”

“ **Rachel** ドラマフェスティバルは学校外で友達をつくる機会を与えてくれました。私が参加したグループのテーマは“フランケンシュタイン”でした。スキットでは体を組み立てなおす所や、死ぬ部分などを演じました。とても面白かったです！またこのイベントに参加したいです！ ”

“ **Natalie** ドラマフェスティバルはとても良い経験となりました。他の学校の生徒と交わり、何かを作り上げる事がとても楽しかったです！私は、“ウェアウルフ(狼男)”がテーマのグループに入りました。一番良かった部分は全員がスキットを終えた時です。一番面白かった部分は、最後に全員でGangnam StyleのダンスをMichael Jacksonの音楽に合わせて踊った時です。とても楽しかったので、また来年参加したいと思います！ ”



Grade 6キャンプ報告...

G6の生徒は11月7日(木)に楽しそうに日光に出発しました。2時間電車で移動した後、現地のレストランで辛いカレーを食べました。その後輪王寺へ向かい、山の頂上にあるお寺を見るために、ガイドと共に階段を長いこと上り、質問をたくさんしながら“竜の涙”のお寺を見学しました。この建物の構造は音が特定の場所に反響するように造られており、竜の絵が泣いているように見せる事ができます。生徒達は歴史のある絵を観る事が出来、小さな記念品を持ち帰りました。

その後、更に山の上にあるホテルに向かうために一時間バスに乗りました。ガイドさんは漢字ゲームを生徒達のために用意してくれており、急なカーブを曲がるたびに、みんなでその漢字に関わりのある言葉を叫びました。生徒達は、景色と急な山道を楽しみ、バスの窓から写真を撮っていました。

その日の夜、ホテルではbuffet形式での夕食を楽しみ、静かにReflection(振り返り)を行いました。チームビルディングのゲームを行い、即興タレントショーなどを行い賑やかに過ごしました。生徒達は温泉に入る時間があり、その後眠りにつきました。

2日目の朝は早起きをし、山登りに出かけました。生徒たちにとってここが一番楽しかったのではないのでしょうか。ハイキングの出発地点に行くまでの道で猿を見る事もできました。ハイキング中、生徒達は自由に走り回り探索しながら、知識豊富なガイドから環境や動植物の生息場所を学ぶこと



が出来ました。鹿と遭遇したり、たくさんの動物のフンなどを見つけ、更に水の循環システムが、どのようにして日本に住んでいるみんなにきれいな水が行き渡るかなども学んだりもしました。生徒達はたくさんの写真を撮りながら木々生い茂る山道を歩いたり橋を渡ったりしました。生徒たちには、木の樹皮を味見する機会が与えられ、すぐにとても苦いものだと分かり、二度と口にしたくないものだということになった様子でした。男体山の裏をハイキングしていたのですが、これでほぼ一日が過ぎてしまいました！歩き終わった後、日光自然博物館に行き、四季の移り変わりを映したショートフィルムを見て、自分達が今まで歩いていた場所の自然環境を別の角度から勉強しました。その後、華厳の滝を3階の展望台から眺め、一日を終えました。

生徒達は自分の物と行動に責任を持っていました。そして、より個人的に先生と触れ合える機会を楽しんでいたように思います。

参加した皆にとってとても良い経験となりました。



クラブ活動

リテラシーとテクノロジーをあわせた楽しみながらのクラブ活動 - デジタルテクノロジーでの読み語り

クラブに参加するGrade 2、3の子ども達は、ウェブ2.0アプリケーションStorybirdを使って、それぞれストーリーを製作し、紹介しています。創作のみならず、お互いの作品を読み合うことも楽しんでいます。



子ども達にとっても操作しやすいソフトウェアツールとなっており、データベースに画家を目指すアーティストたちによる写真や画像が提供され、テーマごとに選ぶことができるようになっていきます。同じアーティストによる作品から類似する場面を選び、

それぞれについて内容を考え、文章を組み立てていきます。こうしてStorybird(ストーリーブックとよんだほうがよいのかもしれませんが)ができあがるのです。

クラブではまたリーディングやライティングの練習のほか、コンピューターやキーボードのスキルも学習しています。リテラシーとテクノロジーをあわせたユニークな活動を展開しています。

ニットクラブ

ナイロビにあるキベラのスラム街は、アフリカの都市圏における第2の規模のスラム街であるといわれています。この地域には、貧困に苦しむ母親や孤児たちが多く暮らしています。東北の被災された地域では現在必要となる物資が確保されているとのこともあり、ニットクラブは現在、キベラの子ども達を支援するためのブランケットづくりに励んでいます。エレメンタリースクール、そしてセカンダリースクールと、それぞれのニットクラブに在籍するGrade 4-9の生徒たちが協力し、編んだピースをまとめ、2枚のブランケットを完成させました。今期のクラブ期間が終了するまでに3枚目を仕上げることを目標に活動を続けています。腕をあげた生徒たちによる製作にはさまざまな工夫がみられるようになってきています。ブランケットにもガーター編みからレース編み、メリヤス編みにケーブル編みといったいろんなパターンが反映されています。



ニットクラブのメンバーたち - できあがったブランケットとそれぞれが工夫をこらしたピースとともに

1月からの第2期、クラブはいったんお休みとなりますが、第3期には活動を再開し、赤ちゃん向けの靴や帽子などにチャレンジしながら、より多くのピースを仕上げたいと思っています。どうぞご参加ください。

追伸 - ナイロビまでブランケットを届けるための募金にもご協力をお願いいたします

マイさん、おめでとう!

青少年読書感想文全国コンクールへの参加・マイさん表彰

今年度はKISTエレメンタリースクールからはじめて青少年読書感想文全国コンクールへ学校代表としてMariko (G2A)、Rei (G3A)、Saki (G4A)、Mai (G5B)の4名が作品を応募しました。その中から特にG5のMaiさんの作品は優秀として賞状が授与されました。これは都内の児童生徒の約27万作品から選ばれた539点にのみ与えられた栄誉です。

Maiさんのコメント「受賞を聞いたときはびっくりしました。私は本を読んだり、物語を書いたりするのが大好きです。時間があると、英語や日本語の本を読んでいます。私が、読書感想文を書くとき、まず、読んだ本の内容を短くまとめた文章を作ります。そして、それに沿って、感想文を書くという方法です。みなさんも挑戦してみてください。」



指導された松居先生のコメント「受賞おめでとうございます。Maiさんは、去年の地震のあと一度沖縄に引っ越して、今年の八月末からまた当校にもどってきました。受賞作の『ここがわたしのおうちです。の感想文』を書くにあたって、対象作の内容と舞さんの実体験が重なる場所があったはずで、その部分が物語の筋を追いながら随所に置かれた彼女の感想をよりリアルに表現させる影響を及ぼしています。特に『私が持っているたくさんのすばらしい思い出も一緒に心の箱に入れて、時々出してみようかなと思った。』というむすびの部分は卓越です。」

Maiさんの作品はElementary LibraryのMoodleページで見ることができます。ぜひ皆さんも読書また感想文書きに挑戦してみましょう。

青少年読書感想文コンクールは毎年夏休み明けに行われます。また2月には小学生対象のさくらメダル感想文コンクールも予定されていますので、こちらは年明けには詳細をお知らせしますので楽しみにしてください。

青少年読書感想文全国コンクールについては以下のサイトをご覧ください。

<http://www.dokusyokansoubun.jp>



Grade 5キャンプ報告...

大冒険でした！

10月3日、Grade 5クラスは山々に囲まれた冒険にでかけました。そして、2泊3日を埼玉県秩父地方で過ごしました。多くの子ども達にとって、家族と離れ過ごすはじめての経験であり、出発時には不安そうな様子もみられました。キャンプ場に到着すると、Jeff、Toshi、Kozue、Ryanといったイングリッシュアドベンチャーのカウンセラーがあたたかく迎えてくれました。オリエンテーションの後、まず森の中で宝探しを行いました。あっという間に夕食の時間となり、ダッチオーブンや焚かれた火の上で、食事の準備に取り組みました。キャンプファイヤーを囲んで歌を歌い、おいしいスモアーズをいただいて1日目を終えました。

翌日はチームでの仲間づくりゲームやフレンドシッププレスレット製作などを行いました。ラペリングがなによりいちばんの挑戦でした。一人ひとりが不安や恐怖を乗り越え、中にはロープの支えをたよりに後ろ向きに飛び降りる「Jeffチャレンジ」に挑む生徒もいました。夜には、宝探しでの発見をもとに子ども達が考えた寸劇が披露され、みんなで楽しみました。

3日目は、ハイキングで山を下り、寄り道をしてこれまでだれもみたことがないような長い滑り台で遊びました。金曜日の午後、学校に戻りました。くたびれましたが、一生の思い出とともに、充実した気持ちでいっぱいでした。



Grade 8キャンプ報告...

埼玉県秩父での校外宿泊学習

G8の生徒達は、9月26日～28日に、埼玉県秩父で校外宿泊学習を行いました。埼玉県の秩父まで電車とバスを使って行き、このキャンプ中に、東京周辺では体験できないアクティビティに参加する貴重な体験ができました。

生徒達は、ラペリング、キャプチャーザフラッグ等、様々な楽しいアクティビティや、ダッチオーブンを使っての料理を通してチームビルディングを行い、より良い学習へとつながる協調性を育みました。

今年も昨年までと同様に、生徒と引率したスタッフが楽しむ事のできる校外学習でした。特にラペリングは安全でありながら、エキサイティングな方法で生徒が楽しめたのではないのでしょうか。

Benjamin Fishman



図書室ニュース

What's been happening at KIST Libraries?

ハングリーリーダー

参加したG6とG7の生徒は今回初めてとなるハングリーリーダープログラムの期間を楽しみました！この読書を勧める試みをサポートするためピザパーティをスポンサーして下さったPTAの皆様、ありがとうございます。11月にはハングリーリーダーを日本語の先生方にもお願いし、EICを含めたG6,7,8の生徒が参加できるプログラムを行いました。新しい本を読む際にはブックレットの記入を忘れないでください！

Drop Everything And Read



11月にDEARプログラムを学校全体で行いました。仕事や勉強を一時やめ、読書に集中する機会を全員が楽しみました。Book Character Costume Parade(本のキャラクターのコスチュームでのパレード)は、エレメン

タリーの生徒、そして先生方からとても人気がありました！今年は生徒が本を学校に持ってきてシェアしたため、キャラクターとの繋がりがより強くなったように思いました。

セカンダリースクールでは、多くの生徒が、本館にポスターを貼って回るなどして、DEARをサポートしてくれました。SRC役員の生徒とサイエンス、音楽、PEの先生方のこのイベントへのサポートにはとても感謝しています。そして、DEAR WALLへのアイデアやReflection(振り返り)をシェアしてくれた生徒と先生方、特に生徒にやる気を起こしてくれたMs ChristianとMrs Hall、ありがとうございます。Dear WallはLMC近くの階段を上ったところにまだ貼ってあり、まだ読書についての考えや意見を書き込む事が出来るようになっております。



これからのイベント

次の図書室のイベントは、2月21日に、PTA Library Committeeと美術の先生が行うCultural Connectionと一緒に行われる、International Mother Language Dayとなります。コスチュームパレードや、保護者の読み聞かせ、MPRでのアート作品展示会、大使館のディスプレイや、World Language Collectionなどのアクティビティが予定されています。

この機会に保護者の方には、持っている、絵、フィギュア、工芸品、ミニチュアディスプレイなどを展示館のために貸し出して頂くか、World Language Collectionのために、本の寄付をお願いしています。詳細は図書室まで来てお伺い下さい。



さくらメダルとアートコンテスト

KISTの図書室にある新しい本:さくらメダルの本があります。これらの本はタイトルごとに分かれていますので、来て見るか、Destinyで予約して下さい。

さくらメダルはInternational School Librarians of Japanが過去二年間に本を出版した著者に向けて企画したものです。エレメンタリー、ミドルスクール、ハイスクールにカテゴリーが分かれており、日本語と英語でもカテゴリー分けされています。日本にある多くのインターナショナルスクールがこのさくらメダルという読書のプログラムに参加しています。KISTからはG2からG12の生徒に参加資格があり、本を読み、アート作品をアートコンテストのために作らなくてはなりません。エレメンタリーとLMC Moodleのページにさくらメダルの本とアートコンテストの詳細が書かれています。

誰が読む本を選ぶのでしょうか？

日本のインターナショナルスクールで働く司書が本を読みアワードの対象となる本をノミネートします

誰が結果を決めるのでしょうか？

生徒が本を読み、一番好きな本に投票します。全校の投票結果を合わせ、カテゴリーごとに票を一番多く獲得した本が、そのカテゴリーの勝者となります。

どのように投票をすれば良いのでしょうか？

1票投票するためには、エレメンタリーは3冊、G6-8は4冊、G9-12は5冊の本を読まなければならない、新しい本を読むたびに、エレメンタリーはSakura Reading Logに、セカンダリーはHungry Readers Bookletに記入しなければなりません。

投票をした生徒はPTAのLibrary Committeeが提供して下さるBook Tokenを手に入れる可能性がある抽選に参加する事ができます。

他には？

日本語エッセイ - 日本語のさくらブックについてのレビューを書く
日本語の本のトレーラー作りコンテスト - 読んだ本についてTrailer(予告編)ビデオを作る

詳しくはライブラリースタッフまでお問い合わせください。



Staff 10!

今回Staff 10!では、2011年よりPEのSubject Area Coordinatorとして当校でPEを教えているChee Lee先生をご紹介します。



去年のISTAAバレーボールトーナメント優勝をした、KIST U18バレーボールチームとMr Lee

● 出身地について面白いことを教えてください。

マレーシアのプタリン・ジャヤで生まれ、16歳の時にアメリカ合衆国に行き、高校から大学院卒業までAlabama州で過ごした後、South Carolina州で1996年から2011年まで仕事をし、東京にきました。質問の答えになってないのは分かりますが、伝えたい事は、私の今までの人生の中で一番面白いと感じているのが東京での生活であり、今はここがホームタウンだと感じているという事です。

● 世界で一番好きな場所はどこですか？

今のところクアアチアのロヴィニです。イベントが始まった時から参加しているサルサフェスティバルがロヴィニで行われます。最初は小さな規模のイベントだったのですが、どんどん大きくなり、インターナショナルなイベントとなりました。午後にはサルサのワークショップに行き、夜にはパフォーマンスを見学し、音楽の生演奏とともに行われるサルサダンスパーティが夜12時過ぎまで行われ、午前4時までDJイベントがある事を想像してみてください。更に午前6時までアフターパーティがあります！その後、私の大好きなBurek(クアアチアの食べ物)を朝ごはんに食べ、アパートに帰り眠り、新鮮なシーフードをランチに食べ、これが一週間続きます。勿論、毎日アフターパーティまで行けるわけではないですが、参加したければアフターパーティは行われています！

● チャンスがあったら会ってみたい人は誰ですか？その理由を教えてください。

父方の家族の誰でも良いから会ってみたいです。彼の出身地である中国を子供のころに出て以来、親族と連絡を取った事がありません。

● 何か特別なスキルやタレントをお持ちですか？

特に特別な事だとは思いませんが・・・シンプルな事を楽しむのが好きです。食べる事、料理、遊び、休み、ダンス、旅行などですかね。

● ご自身についてあまり知られていないことを教えてください。

大学時代、Jacksonville State Universityでプレースキッカーのポジションでアメリカンフットボールをしていました。

● あなたにとって一番の宝物は？

パスポートでしょうか。この仕事を始めるにあたり、アメリカからこちらに来る際に持っている物全てあげてきてしまいました。

● ご自分を言葉で表現すると？

何事もシンプルに、バランス良く、纏まっているのが好きです。

● もう一度人生をやり直せるとしたら何か他のことをしたいですか？

はい、もっと早くから海外で教えたかったです。そしてその前に留学生になりたいです。

● 自分を高めるために今やっていることは？

IBの基準に従っての授業の組み立てと、日本語を学んでいます。

● ファンに一言お願いします。

体育(PE)を20年教えてきていますが、KISTの生徒はとても優秀です。このような経験をさせて頂き、皆様に感謝しております。

Announcement



Mrs KomakiはMr Komakiと共にKISTを創設し、以来副理事長としてさまざまな責務を果たして参りました。また、現在は文部科学省国立教育政策研究所の'未来の学校づくり研究会'の委員としても日本の教育政策の提言に関わっています。KISTにおける氏の責務が多岐にわたるため、職位として、同氏の責務を明確にする

必要が生じ、理事会の承認を得て、同氏をVice Deputy School Director 兼Associate Head of Schoolとすることになりましたので、ここにお知らせ致します。

オフィスアップデート

学費のお支払いについて

2012-2013 school fee 第3回目の支払期限は12月17日(月)となっております。お手持ちの請求書をご確認下さい。なお、学費の請求書の発行は昨年より年1回となっております。支払期限をお守りください。紛失などの理由で、お支払い詳細が分からない場合は、お電話又はメールにてお知らせ下さい。期日を過ぎてからのお支払いにつきましては、別途手数料が発生します。

アクセサリーの着用について

小さめの腕時計を除き、生徒によるアクセサリーの着用は一切認められておりません。透明のイヤリングも同様となります。ピアスの穴を開けられる際は、長期休暇のはじめにご予定いただくなど、登校時には外していただく必要がありますので、ご理解ください。

制服

すっかり寒くなり、冬物アイテムの出番になってきました。ニット帽子、手袋、マフラー、ネックウォーマー等。



冬物アイテムは黒色無地のみ着用が許可されています。黒以外の色の物を着用している生徒は買い替えてください。なお、これらのアイテムは学校でも安価で販売しております。

また、最近学校指定以外のコートや、トレーナー等制服以外の物を着てくる生徒がいますが、学校制服以外の着用は禁止です。

靴もブーツは許可されていません。寒い場合はヒートテック等高機能の下着やタイツなどを着用して調節してください。

Volleyball Success

11月17日にU18(18歳以下)女子がISTAAバレーボール選手権2連覇を達成致しました。KISTは決勝でCanadian International Schoolに2-1で勝利を収めました。そして11月18日の日曜日にU18男子が、ランク一位のBritish School in Tokyoに決勝で17-25, 26-24, 16-14のスコアで勝ち、初となるISTAAバレーボール選手権優勝を果たしました。

選手とコーチ(Mr Lee, Mr Hori, Ms Hainesと Mr Jay)のみなさん、おめでとう！

U14のチームは、今年までバレーボールをした事が無い生徒が多かったにも関わらず、とても大きな進歩を見せました。U14女子は決勝トーナメントで少し届かない部分がありましたが、シーズンを勝ち越して終わる事ができました。U14男子はBSTとISTAAトーナメント決勝であり、接戦の末にファイナルセットを落としました。

KIST Cometのバレー選手のみなさん、Well Done !

Jay Leroy
Athletics Director

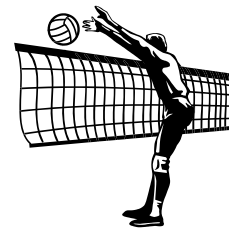
KIST U18 SWEEP ISTAA VOLLEYBALL!



KIST Comets U18 Boys ISTAA Volleyball Champions 2012



Celebrating our victories



KIST Comets U18 Girls ISTAA Volleyball Champions 2012

フィールドデイ

昨年より始まったフィールドデイが、今年も9月18日(火)にPEの先生方の企画によって行われ、生徒達は様々なアクティビティに参加しました。このイベントは、まだ二回しか行っていませんが、生徒達からの好評を得ています。生徒同士の仲を深めその後のイベントを行いやすい環境を整えるという目的を含めて、年度の初めにフィールドデイを行っています。

生徒はそれぞれのハウスカラーに得点を入れるため、フレンドリーなスポーツイベントに参加しました。競技は、バレーボール、野球、ラクロス、ドッジボール、バスケットボールなどを中心に行いました。セカンダリースクールでは、3ポイントという僅差でブルーチームが勝利を収めました。おめでとう！

このイベントを成功させるために協力して下さった皆様はこの場を借りてお礼を申し上げます。特にこのイベントに使った1200個もの水風船を膨らませてくれた方々、ありがとうございます。

残念ながらエレメンタリーのフィールドデイは天候の都合上行う事ができませんでしたが、Mr Jayが通常のPEの授業時間を使い、全アクティビティを行う事が出来ました。生徒のアクティビティをリードし、記録をつけてくれたMr Aaron Ross、ありがとうございます。今年エレメンタリーでは、グリーンチームが優勝しました。セカンダリーとエレメンタリー両方の優勝したチームのトロフィーが学校レセプションの向かいに飾ってあります。

今回のイベントでは、46,470円の資金が集める事が出来ました。このお金は、丁度これからシーズンが始まるタイミングで、校庭のバスケットゴールを買い替える費用に充てられます。



適応サポート

年間を通してお子さんの適応が必要となる状況において、どうサポートをしていくのか、ご家族で話し合い、備えておくことが大切です。よい形で新学期をスタートし、年度当初から積極的な姿勢を育てていくことで、自信とともにきちんとした生活のリズムを身につけ、問題となりうる状況や葛藤を乗り越えていくための力となります。子ども達はそれぞれ違い、一人ひとりが特別な存在です。日頃からお子さんと話し、ともに準備しておくことで、それぞれの状況、気持ちを受け止め、実際によりよいサポートを提供することができると思います。

当校では、入学、新たな課程への進学、海外または他校への転出時に生徒への適応サポートを行っています。インターナショナルスクールには、一定の期間在学した後、海外へ転出または母国へ帰国されるご家族もいます。友人や慣れ親しんだ環境を離れることは、容易ではなく、新たな土地、出会いへの期待も高まる反面、ひとつの場所を離れ、新たな環境に足をふみ入れ、適応していくまでの過程には多くのストレスを伴うことも考えられます。

「どうなるのか」、「もし・・・だったら」といった将来への不安、また行先がみえない中でも状況を受け入れ、仲間との別れをどう乗り越えていくかなどの悩みや問題には、Mr Fishmanによる協力、サポートも提供されています。生徒の転入、転出が比較的多いインターナショナルスクールにおいては、転出するお子さん以外にも仲良くしていたクラスメートの転出等により在学する生徒にも変化がみられる場合もあります。仲良しの友だちをやっとみつけたのに、友だちが引越すことになってしまったということがあるかもしれません。再度友だちづくりに励んだり、また離れた友だちとのやりとり、交流にもさらなる時間、エネルギーが必要となります。お子さんの学習等を左右することもあるため、仲間と離れ、また残された立場における葛藤もしっかり受け止め、見守っていくことが必要です。お子さんの適応をサポートしていくにあたり、お子さんの性格、気質をよく知り、ご理解いただいていることが重要と

なってきます。子ども達はそれぞれの方法で、状況と向き合うこととなります。変化をどう受け止め、いかに適応することができるのかは、一人ひとりの性格や気質によって異なります。

ひとつの例をご紹介します。比較的順応しやすいお子さんの場合、幼少期をとりまくさまざまな変化おける段階から適応力を発揮する姿がみられます。進級時の適応などがスムーズなお子さんの中には、転校等も、これらの変化と大幅にかわるものではないととらえ、努力をそう必要としない場合もあるのです。変化に伴う葛藤や問題ばかりにとらわれず、親御さんとしての視点からお子さん自身、そして状況をとらえ、それぞれが感じられた方法でサポートしていただくことがなによりであると思います。

反対に、これまで環境や状況の変化と向き合うことがお子さんにとって難しい経験であった場合、普段以上にお子さんへのサポートが必要となります。

いくつかのヒントをまとめましたのでごらんください。

- 「なんとかなる」ととらえず、適応のプロセスにおける計画の必要性を認識する
- お子さんの状況を知るために、カルチャーショック、友だち関係、環境への適応等、それぞれの感じる葛藤や問題についてたずねるようになる
- 状況に備え、どう乗り越えていくのか計画をたてる
- まわりからのサポートを得る(在学する学校のカウンセラーや、転校予定の学校のカウンセラーとの連携など)
- すべてを現実的にとらえて考え、過剰な期待はしないようにする
- なにごとにもオープンであるよう心がける
- 変化を受け入れる姿勢をもつ
- 新たに身につけたスキルや知識をシェアし、使ってみる

Benjamin Fishman
Student Welfare Counselor

Doctor in the House



1ページ、Mr Komakiのメッセージでもご紹介させていただきましたが、Dr Mark KobayashiをKISTのスタッフとして迎えました。ボランティアで当校の校医として、また毎週木曜日はNurse's Roomで当校のサポートをしていただくこととなりました。

Dr Kobayashiのコメント:「こんにちは、私はスクールドクターとして毎週木曜日にボランティアに来ている、Drマーク 小林です。

私は救急外科と精神科のドクターであり、K1の子供を

通わせている保護者でもあります。

生徒の皆さん、ケガや具合が悪かったり、気になることがあったら気軽にナースルームにきてください。『こんにちは!』を言うためだけ、また、将来ドクターになりたいと考えている生徒の相談にも応じます。」

Dr Mark 小林がいる日時: 毎週木曜日8:15-3:15

Dr Kobayashiへの メッセージ

Dr Mark Kobayashiに心より感謝いたします。けがをしたり、病気になったりと、いつも元気であることはなかなかむずかしいものです。ボランティアでいらしていただけることになり、安心して過ごすことができるようになります。

保護者を代表しましてPTAより心から御礼申し上げます。



Grade 1レベルとは

Grade1について - 教育者の視点から

これまでさまざまな年齢、教科を担当し、子ども達とかかわってきましたが、中でも最も好きな学年ひとつとしてGrade 1には特別な思いを感じています。Grade 1では、指導にあたり準備をはじめ、クラスの一人ひとりのニーズへのサポートなど多くのことが求められてきます。同時にそれぞれが今後の学習、そして生涯につながる学びや重要なスキルを身につけ、伸ばしていく姿にかかわっていくことができるのは、大きな喜びです。コンセプトを理解することができたときなどの気づきや発見、言葉や文章を読むことができたときの喜び、そんな場面をともにすることができることに心からやりがいを感じています。

保護者の方々が、この学年の重要性や、学習内容等についてたずねていらっしゃるがよくあります。よくあるご質問の内容をまとめましたのでご参考までにご紹介させていただきます。

Grade 1はKindergartenを終え、初等教育のスタートとなる1年です。6歳または7歳になられたお子さんが在籍しています。比較的月齢の高いお子さんの方が、すんなりと学習に取り組むことができるケースがよくみられ、それぞれの自信へとつながっているようです。

Grade 1では、Kindergartenでの学習をもとに、文章を読み、やさしい文を書いたり、アルファベットをマスターしたりとリテラシーの基本を学びます。数学では、足し算や引き算、計測、幾何学の基本、カレンダーや時間、グラフなどといった内容にふれていくこととなります。

自然科学では、地球の資源やさまざまな物質について話し合いながら学習がすすめられていきます。また、社会の分野では、社会におけるさまざまな関係性やコミュニティにおいてそれぞれがどうかかわり、助け合っているかといった視点からの探究を展開します。身のまわりの世界を観察し、それぞれが気づいたことについて疑問をもち、考えていくことができるようにサポートしていきます。そして調べることに慣れるにつれ、子どもたちはさらに大きな疑問とともに、より発展させたレベルで予測をたて、考えることができるようになります。

Grade 1への進級とともに、子ども達は情報を処理し、学習していく能力を発展させていきます。これまでの情報や知識とそれぞれが実際に感じたこと、経験したことを関連づけることができるようになっていきます。そして、いくつかの新たな認知スキルを身につけることがGrade 1の学習においてとても重要となってきます。

お子さんのすこやかな成長のため、一人ひとりの情緒、社会性、運動、認知面それぞれでの発達が、実際のお子さんの状況や年齢に適したものであることが必要です。皆様にはこの点をきちんとご理解いただきたいと思えます。また、子ども達も発達におけるそれぞれの今を楽しみ、外で遊ぶことや友だちとあそぶ機会、家族と過ごす時間、早めの就寝、また新しいことへの学習を、単調な学習活動ととらえるのではなく挑戦ととらえることが

できるよう、ご協力をお願いいたします。

一人ひとりそれぞれに違いはありますが、Grade 1レベルにおいて必要となる認知スキルについて少しご理解いただくことがよりよいサポートにつながるのではないかと感じています。

Grade 1で必要となる認知スキル
(Amanda Morin、子どもの発達段階より)

スキル: 物と物や基本的なレベルにおける人と人の間の類似性や違いがわかる

理由: Grade 1で学習する内容に、物や考え、人をどう比べるかといった課題があります。数学の基礎でもあり、さまざまな特徴ごとの分類、複雑なパターンの作成や認識、情報収集、グラフ表示といった学習ともつながっています。

スキル: “v”、“j”、“r”、“l”、“s”などのより複雑な音や“sh”、“ch”、“th”、“str”などの音を組み合わせた発音ができる

理由: Grade 1に進級される段階で多くのお子さんが、このような複雑な音、または音を組み合わせた発音を身につけていることが望ましいとされています。問題やご不安などありましたら、言語の専門家にご相談いただくこともできますが、あまりご心配されることはないでしょう。これらの音を聞きわけ、発音することができるようになることで、リーディングまたライティングの学習がより身近なものとなります。発音すること、また耳できちんとわかることができない単語におけるスペリングまたはリーディングの学習はむずかしいことでしよう。

スキル: 今日、明日、昨日といったコンセプトを理解する

理由: 多くのGrade 1クラスでは、カレンダーの紹介が日々の学習活動の一部となっています。曜日や月々の順序のみならず、それぞれのつながりについても考えていきます。学校での一週間は月曜日からとわかっているお子さんでも、昨日が何曜日であったか、明日は何曜日であるか、などわかるようになるには時間がかかるかもしれません。

スキル: 簡単な足し算の問題を解くことができる

理由: Grade 1の数学は、8+8などの倍の足し算、倍に1を足す足し算や引き算を中心とします。このような計算式は、暗記され、学習されることもできますが、お子さんのパターンを認識し、理解する力とも関係しています。

スキル: だれ、なに、どこ、なぜ、などの質問に答えることができる

理由: この年齢において、お子さんにこのような質問にそのまま答えていただくのはむずかしいかもしれません。だれ、なにが、どこで、なぜなどを明確にし、問いかけるなどのヒントが必要となります。お子さんの答えは、親御さんが期待する内容に比べ、おおまかなものであったり、以前と同じような答えであるかもしれませんが、ライティングで詳細についてふれるようになってくるとともに、創作、また話し手としての力を発揮することができるようになるでしょう。

Morena Christian
Grade 1 Teacher

クロスカントリーフィーバー

今年度の校内クロスカントリートーナメントも大きな盛りあがりを見せました。ご協力いただきましたスタッフやボランティアの保護者の皆様、ありがとうございました。また、上位の成績をおさめ、11月30日(金)のISTAAチャンピオンシップでも力を発揮したそれぞれの生徒には大きな拍手を送ります。



Inter-school Cross Country (November 16, 2012)

男子	女子
Grade 1	
1) Daiki (G1B)	1) Rio (G1B)
2) Kaito (G1B)	2) Homare (G1A)
3) Zoran (G1A)	3) Nicol (G1A)
Grade 2	
1) Keanu (G2B)	1) Sola (G2B)
2) Harunosuke (G2A)	2) Elena (G2A)
3) Shin (G2A)	3) Serena (G2A)
Grade 3	
1) Kaiser (G3B)	1) Zoe (G3B)
2) Kishore (G3B)	2) Rina F. (G3A)
3) Ross (G3A)	3) Rina N. (G3B)
Grade 4	
1) Samuel (G4A)	1) Maki (G4B)
2) Den (G4B)	2) Saki (G4A)
3) Jun (G4B)	3) Sato (G4A)
Grade 5	
1) Nimit (G5A)	1) Emily (G5B)
2) Kenzo (G5A)	2) Karen (G5A)
3) Michael (G5B)	3) Reina (G5A)
Grade 6	
1) Keina (G6A)	1) Emiri (G6A)
2) Shin (G6A)	2) Ayumi (G6B)
3) Keigo (G6A)	3) Ruiran (G6A)
Grade 7	
1) Ke Yi (I7A)	1) Seina (G7A)
2) Taisei (G7B)	2) Riko (G7A)
3) Hikaru (G7B)	3) Amina (G7B)
Grade 8	
1) Hee-Jun (G8B)	1) Lin (G8A)
2) Haruto (G8A)	2) Moana (G8A)
3) Akira (G8A)	3) Enna (I8A)
Grade 9	
1) Tyson (G9A)	1) Nino (G9B)
2) Michael (G9A)	2) Sara (G9A)
3) Jisang (G9A)	3) Ayaka (G9B)
Grade 10	
1) Salam (G10A)	1) Keerti (G10A)
2) Taymur (G10A)	2) Rei (G10A)
3) Roshana (G10A)	3) Tamami (G10B)
Grade 11	
1) Adam (G11B)	1) Akiko (G11A)
2) Sashank (G11B)	2) Miku (G11B)
3) Abhinav (G11B)	3) Rio (G11A)
Grade 12	
1) Alakhsa (G12A)	1) Monica (G12A)
2) Ashutosh (G12B)	2) Marie (G12B)
3) Haruka (G12A)	3) Shifa (G12A)



College Guidance News

ホリデーシーズンがやってきました！ ということは、ケイ・インターナショナルスクールのカレッジガイダンスオフィスにとっては、一年で一番忙しい季節がやってきたということなのです。今年の12年生の多くが、12月から1月初めにかけて、アメリカ、イギリス、日本、アジアの大学に出願します。Mr JohnsonとMrs Okudeは、大学の選択、大学出願エッセーの添削、各教員への推薦状依頼など、生徒や保護者の大学出願準備にかかわってきました。また、ガイダンスオフィスは、イギリスの大学にはUCAS、アメリカの大学にはCommon Applicationといったオンライン出願システムを利用して、生徒の成績表や評価などを送ります。その他さまざまな形で大学への正式書類の用意をし、生徒の出願を支援しています。皆さんのご健闘を祈り、今年もまた素晴らしい結果がでることを楽しみにしています。

Mrs Okudeアメリカ東海岸の旅

今年の夏、彼女はアメリカ東海岸を2度旅行し、イェール大学、コロンビア大学、プラットインスティテュート(NYブルックリンにある名門美術大学)、ボストン大学、ノースイースタン大学と母校ジョージワシントン大学を訪問しました。各大学のアドミッションオフィサーに会い、情報交換を行ってきました。また、文部科学省の調査プロジェクトのメンバーとして、国際バカロレアアメリカオフィスやワシントンDC地域にあるIBワールドスクール5校を訪問しました。

Alumnus News

ボストンにて初めてのKIST同窓会開催

9月のある土曜日の晩、ボストンのイタリアンレストランで、The KIST Alumni Dinner with Mrs Okudeが開催され、ボストンに在住している3人の卒業生、**Aditya Dhara** (Class of 2010)、**Matthew Peoples** (2011)、**Shreya Deshmukh** (2011) が参加しました。Aditya は、ノースイースタン大学の3年生で数学を専攻し、現在大学のCO-OP プログラムの一環として、ボストンの保険会社で保険数理士のインターンをしています。Matthew は、ノースイースタン大学、Shreya はボストン大学の2年生です。現地で卒業生がそれぞれの大学生活を楽しんでいるのを見ることができ、とても素敵な時をすごしました。

Carmina Mancenon (Class of 2010) が、プリンストン大学学生自治会副会長に選出されました。

おめでとうございます！このニュースは Daily Princetonian に掲載されています。

<http://www.dailyprincetonian.com/2012/11/24/31913/>

プリンストン大学のウェブサイトのトップページには、プリンストン在学学生を代表する3人のひとりとして、彼女のビデオ紹介も載っています。“Three Students”

<http://www.princeton.edu/main/>



The newly elected Vice President Carmina with new President (photo from Princeton website)



Display at Rockville High School, Rockville, MD



IB Americas office in Bethesda, MD



The George Washington Uni., Washington, DC



Rare book collections in Yale University Library



Richard Montgomery High School, Rockville, MD inside the building



Lunch Room at George Mason High School, Falls Church, VA



Aditya, Shreya and Matt in Boston



Memories of
KISTival 2012